２０２２年　 １ 月　６　日

自治労神奈川県立病院機構労働組合

第１２３号

　　　　　　　　委員長　村田　智津

横浜市中区日本大通り１

（本庁舎地下南西角）

☎045-201-2961

　　　　　　　　２０１３年１２月　１日





　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　自治労神奈川県立病院機構労働組合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第　７１　号



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員長：永井　美徳



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　横浜市中区日本大通り１

組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスによる感染が拡大する中で、「神奈川モデル」による重点医療機関として県立病院の役割を果たしてくださる組合員の皆様をはじめ、県立病院職員の皆様に感謝を申し上げます。

昨年1１月に役員改選が行われ、新体制を確立してから約２カ月経過しました。この間、労務交渉やコメディカル職種における宿直明け服務に関する問題などの労働運動を支えて頂いた皆様に御礼申し上げます。

宿直明けの午後帰宅する際の服務に関する問題は、現在も課題改善にむけてとり組んでいます。ユニカフェをはじめとした組合員の皆様との対話を通じて労働環境の目指す姿や目的を共有し、労使間での「医療現場の実態を踏まえた本音の議論」を通じて、課題改善に繋げていきます。

結びに、すべての組合員の皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念申し上げて、年頭の挨拶とさせて頂きます。

令和4年1月1日

自治労病院機構労働組合委員長　村田智津

当直明け服務問題の取り組みの経過

・当直明け服務問題要求に、“各病院権限による勤務割振り変更により対応可能”の回答！暫定措置だが、おおむね従前の正当な慣行同様当直明け午後帰宅可の勤務体制確保可能に！

・職場の声受け、自治労の早期の取組と署名171名の成果！

・早急に各病院に通知を約す！各病院・各科毎に現状踏まえ、柔軟・多様な割振り変更による勤務体制の設定必要！各職場で早急に十分な議論を！

・今後、根本問題の当直（宿直）時の十分な睡眠が取れない過重な業務実態に対応する勤務体制の改善必要！必要な人員確保前提に2交替制等導入の議論・交渉を継続！

・当直時の疲労等による、医療事故予防、職員の健康確保、安全配慮義務の観点とともに、他県より低い宿直手当や夜勤手当の改善含め、病院機構本部の誠意ある対応を求める！

緊急課題“当直明け服務問題を自治労神奈川県立病院機構労働組合は”約1月という短期間に職場の関係者とも話を進め、それをもとに折衝と交渉を重ねてきた。

この緊急課題は当直時の業務量増大に対する永年の対応に、組合との協議、業務実態の検証、安全配慮義務を抜きにした機構本部の一方的通知に端を発している。

　どこの職場も当直時の業務内容は日常業務と変わらないほどで「十分な睡眠」は保証されていないにも関わらず、医療労働者としての責任感からの対応にゆだねられてきた。

機構本部の対応への意思表示がコメディカル職種在籍の４７％の署名１７１名にはっきりと示されている。ここを機構本部はしっかりと受け止めねばならない！

自治労病院機構労働組合は１１月２５日の役員選挙の結果を受け、１１月２６日交渉の場で新たに就任した村田委員長名で基本要求と当直明け服務問題に関する要求書を改めて提出し、署名を重く受け止めるよう訴えてきた。

２６日の交渉で機構本部は、この課題は「前提としての問題は夜勤なのか当直なのか業務量とかが根底にある。これが午後の服務問題になっていると認識している」と発言し、「夜勤問題は何が適切なのか探っていくことが必要」であり「翌日の勤務にかかる服務の問題は機構として解決できることは勤務の割り振りである」と発言した。

組合は「問題の解決を職員だけに押し付けるな！理事長判断による職免の対応も検討できないか」など迫った。また、勤務割り振りによる宿直手当・時間外手当等の削減も試算できることから、業務の実態を鑑み、「当直手当の引き上げ」も訴えてきた。

　年末であり各職場では年休に余裕がある人ばかりではない状況をも鑑み、とりあえず早急なる決断が求められた。

機構本部の現段階の姿勢は「４時間の勤務割り振りがどのようにできるのか、各病院・セクションの状況は異なるので、現場と話し合って確認していきたい。方向は３月中に出したい」ということ。

　　組合としては、年休を当直対応に使用することは、避けたいので、一刻も早い結論を求めてきた。

２０２２年１月に機構本部との話し合いを予定。役員会としても各病院・セクションの状況把握とともに、組合員の意見を集約中です。ご意見をお寄せください。

　課題解決に、職場でまだ組合員でない方などは、加入をご検討ください。数は力です。

　粘り強くコメディカル職種の労働環境改善のために頑張りましょう。

新年にあたり、アフターコロナ禍の社会を考える



社会の動き

2020年の春以来すっかりコロナ漬けの日々も早や２年。昨年末にかけての若干緩んだ空気も１月連休

明けにはオミクロン株の第６波が来る?!　今年もコロナ禍は続く？　元々隠されていた格差、貧困、差

別といった問題への民間ベースの支援もかなり厳しい状況なのに抜本的な公助はないのでしょうか？

振り返れば、昨年の自民党総裁選祭りの後なだれ込んだ衆院選は多くの国民に期待を抱かせるものでは

なかったのでしょう。投票率は６割にも満たず、大阪では知事のメディア露出もあり維新の躍進はありま

すが結果は概ね現状維持（というより改憲勢力で見れば自公維国で2/3を大きく超えます）。

この選択はあきらめ？あるいは現状より悪くならなければいいという意思表示？はたまた日本の伝統(？)である、お上意識（お上が何とかしてくれるからその言うことに従っていればいい）ゆえなのでしょうか。

日本では政治がタブーとされています。日頃の家族や友人あるいは職場での会話に政治的な話題は避けられています。これはやはり教育のなせるわざなのでしょうか。ちゃんとした政治教育（こう言うと何か思想教育のようにも聞こえますが、そうではなくて日頃の日常生活をよりよくするためにはどうすればよいかを考え、社会的に解決するのが政治の仕事であるならばどういうふうに政治に関わっていくかを考えて話し合っていくこと）がないことが本当の意味での社会への参画を妨げています。

今年もまた選挙があります。参院選は７月10日投開票で調整しているようです。その争点はコロナ禍が

続いていれば、その対応が中心となるでしょう。一方で岸田首相は自民党改憲推進本部を改憲実現本部に名称変更したことにもあるとおり改憲にも前のめりです。

自民党は改憲４項目（自衛隊の明記、緊急事態条項創設、合区解消、教育の充実）を挙げていますが、そ

の本音は2012年の自民党改憲草案に示されています。天皇元首、国防軍の保持、そして何よりも「個人」は

否定され、「人」として「社会の自然かつ基礎的な単位」である「家族」に取り込まれるのです。基本的人権

に関しても「自由及び権利には責任と義務が伴うことを自覚し、常に公益及び公の秩序に反してはならない」

とされています。現憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の３原則を実質上ないがしろにしようと

しています。これが政権与党の目指す国家なのです。

昨年末の憲法審査会では自公維新はもとより国民民主党も改憲に前向きの姿勢を示しています。いやいや、

そんなことより今は目先の10万円の方が大事なんだよと言う方もいらっしゃるでしょう。そのギリギリの

切実さもよく分かります。でも次の参院選での選択においては、改憲問題も判断材料に入れておくことも必

要なのではないでしょうか。いつか来た道をたどることのないように。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　組合事務局

ユニオンＣａｆé　のお知らせ

自治労ユニCafé“なんでも相談室の看板を掲げ

11：30～13：30までの２時間開きます。がんC・こども医療Cは１３時まで

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属名 | １月 | ２月 | ３月 | 会場 |  |
| 足柄上病院 | 　１１日 | 　　　８日 | ８日 | 研修室２ | 第１火曜日が目安 |
| こども医療C | 未定 | 未定 | 未定 | 第３会議室 | 第４金曜日が目安 |
| がんセンター | １３日 | 1７日 | 未定 | 中会議室 | 第３木曜日が目安 |
| 循環器呼吸器病C | １４日 | １８日 | １１日 | 小会議室３ | 第２金曜日が目安 |

どうぞ、時間を作って遊びにでも来てください。歓迎します。

